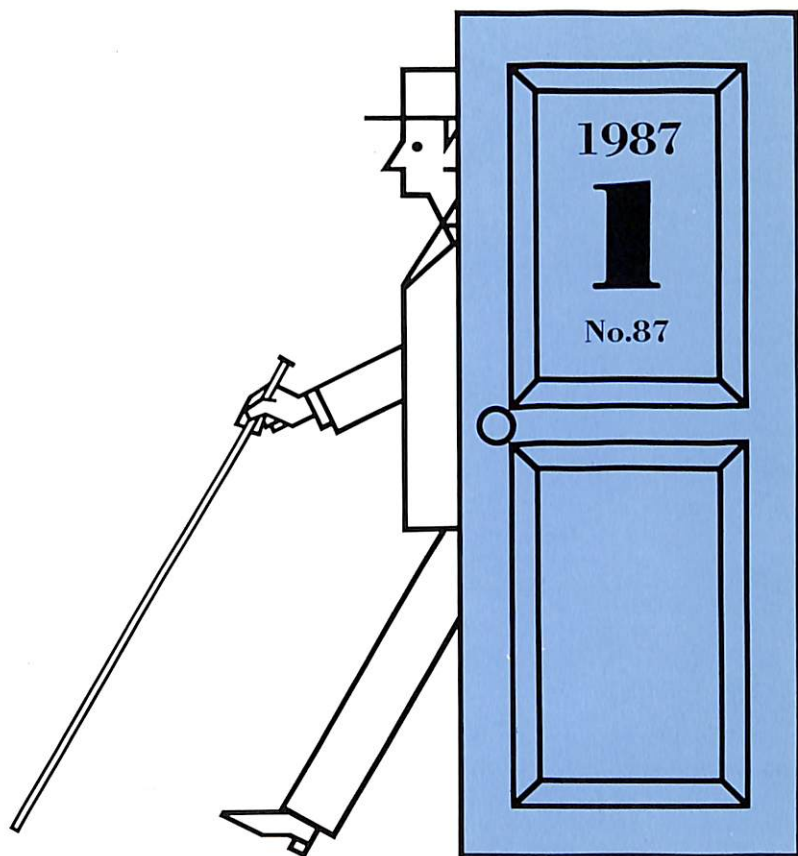


視	覚
障	害

その研究と情報

特集＊音楽とともに



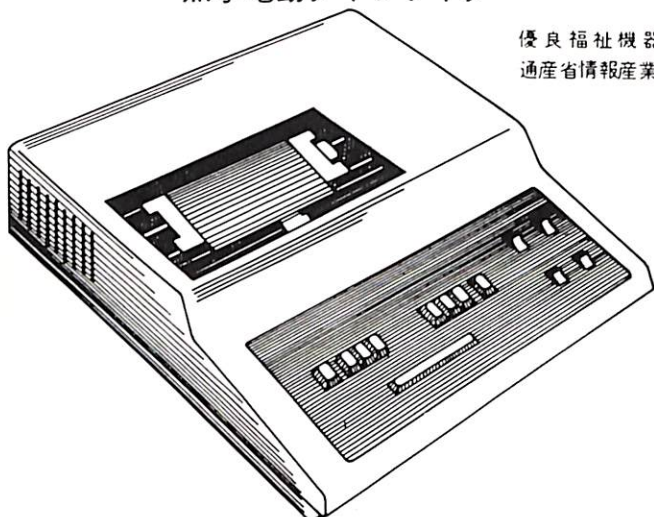
ISSN 0385-7476

SSK

Braille Data Terminal

ESA 731

点字電動タイプライタ



優良福祉機器表彰制度
通産省情報産業局長賞受賞

ESA731はコンピュータをはじめとする
情報機器との接続が可能な電動タイプライタです
使い方いろいろ。点字情報の
未来を拓くためのお役に立ちます。

特 徴

- 簡単な操作
パーキンスタイプライタと同じキー配置
- 利用範囲を大きく広げる点字プリント機能
毎秒10文字のハイスピード印字
- 良質な印字
110kgの用紙までプリント可能
- 改ページ機能
連続用紙の採用により自動的にページ変えが可能

主な適用分野

- カナタイプ→点字タイプ思いのまま
自動点訳、自動代筆、録音タイプ
- 点字版ワードプロセッサ
小部数の複製が手軽にとれます。
- コンピュータ端末装置
マイコン、ミニコン、大型コンピュータの
いずれにも接続してコンピュータの情報を
点字で入手できます。

(株)白雷商会

福祉機器事業部

〒174 東京都板橋区前野町3-48-2 電話03(969)8266(代表)

目 次

1987年 1月 No.87

2 ページ評論	和波 孝禧	2
---------	-------	---

特集 音楽とともに

音楽とキリスト教と一鍵盤楽器奏者

武久源造の場合	淡野 弓子	5
情熱ある演奏家に	富田 清邦	13
音楽は生涯のよき友	伊藤 あきひろ	17

この人と語る

点字楽譜ア・ラ・カルト	加藤 俊和・小野 昭美	23
-------------	-------------	----

ボランティア西・東

京大点訳サークルを訪ねて		36
--------------	--	----

自叙伝による近代の盲人像 第4回	谷合 侑	43
------------------	------	----

インフォメーション・コーナー		52
----------------	--	----

編集後記		62
------	--	----



音楽の喜びを分かち合おう

ヴァイオリニスト 和波 孝禧

もし私からヴァイオリンを取ったら一体何が残るだろう？ 4歳でヴァイオリンを習い始め、以後今日まで、ひたすら音楽の道を歩き続けてきた私。ほかのことにもあれこれと興味は持っているが、結局ヴァイオリニストとして以外に、私の生きる道はなかったように思う。去年は日本とヨーロッパのほか、初めて韓国、エジプト、モロッコを訪れて演奏し、また、一昨年から始めた夏期講習「ハケ岳サマー・スクール」もどうやら軌道にのってきた。私の音楽をできるだけ多くの人々の下に届け、同時に私のヴァイオリン奏法や音楽観を、後輩たちに伝えていきたいという姿勢を理解してくれる人は少しずつふえている。

職業音楽家として生きることの厳しさを、いやというほど思い知らされた今も、私はこの道を選んだことを少しも後悔していない。常に将来への不安を抱えながら、それでも迷いや挫折なしにここまで来られたのは、もちろん教えてくださった先生方や、理解ある周りの人たちのお陰だが、「人間が造りだした最も美しいもの」といつもかかわっている喜び」が、心の支えになっていたのだ。子どものころから「白鳥の湖」の美しい旋律にうっとりし、ベートーベンの「英雄」の迫力にぐいぐい引き込まれる快感を覚えつつ、夢中で聞いていた私は、今たとえばバッハの深く気高い世界を、自分の音でいかに描くかを、また、ブラームスの温かみにあふれた旋律を、どのような音色で描くかといった研究と取り組む毎日を、この上なくしあわせに思っている。

職業演奏家である以上、常に完璧に弾くことを目指し、一つ一つの仕事に最善を尽すのは当然の義務だと思う。そして言うまでもな

いが、演奏の質において「盲人だから」といった甘えは決して許されない。どんなに心のこもった音楽でも、技術が貧弱では通用しないのである。盲人が楽器の演奏技術を習得するには、確かに晴眼者の想像も及ばぬ苦労がある。楽器を持つ指の形、手の動かし方、何をとっても見よう見まねでなく、自分の感覚で体に覚え込ませなければならない。また、どんな曲でも点字の楽譜を読み、それを覚えてからでなければ弾けないというのも大きなハンディである。

だが私は、そのようなハンディをはねのけてあえて厳しい音楽の道に飛び込む視覚障害者がふえてくれることを期待している。とかく「努力することの意味」が軽く見られがちなこの時代こそ、目標に向って根気よく努力を積み重ねることのできる人は、むしろしあわせなのだと私は思う。そして邦楽、洋楽を問わず、晴眼者と肩を並べる力量の持ち主が続々と現われてくることを願うのである。

音楽は私たち視覚障害者にとって、目の助けを借りることなく、そのすばらしさを100パーセント味わうことのできる、数少ない貴重な財産である。気分転換に、ストレス解消に、音楽が生活の中で果たす役割は極めて大きい。たとえそれを職業としなくても、いろいろな種類の音楽を聞き、また、演奏して、日々の暮しに潤いを見いだしている盲人は多いはずである。それら「音楽の喜び」を知る人たちが、互いに付き合い、喜びの輪を広げていけたらどんなにすばらしいことだろう。

私は、日本とヨーロッパを往復する今の立場を利用し、特に盲人音楽家や音楽愛好家の国際交流の場がふやせるよう役立ちたいと思っている。音楽を心の友として、皆でこの厳しい時代を明るく生き抜いていきたいものである。

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

「盲人は耳がいいから、音楽的に優れている」と思い込んでいる
晴眼者によく出会います。しかし、そうでないことは、卓越した音
楽性と技量を持った盲音楽家が、いかに少ないかということによく
わかります。目の見えないことがそれほど大きなハンディにならな
いだけに、それがよりいっそう明確になっていると言えるでしょう。
邦楽の世界から盲目の伝承者がしだいに消えていったのも、その辺
に原因の一つがあると思われます。

今回は、新年ということもあって音楽に生きる人たちを何人か御
紹介しました。原稿依頼の段階で、初めの予定と代わったところも
ありますが、比較的若い人たちを登場させることができて、むしろ
よかったと考えております。和波さんは別格として、その他の人た
ちに、みんなで大きな声援を送りたいものです。また、加藤さんと
小野さんのような方々にも、惜しめない拍手を送りましょう。

(田中徹二)

視 覚 障 害 1987年1月 No.87

年間購読料 3,000 円 (送料とも)

発行日 1987年1月1日

編集人 (連絡先)

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
23番4号 日本点字図書館内

電話 (03) 200 - 1130

振替口座 東京 6 - 1 6 1 0 3

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧6 - 26 - 21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2 - 9 - 13
電 話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館